

株主メモ

事業年度 / 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 / 6月

株主確定基準日 / 定時株主総会、期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 / 三井住友信託銀行株式会社

◎ 郵便物送付先および電話照会先

〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)

(ご注意) お取扱いについて

①未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

②住所変更、単元未満株式の買取り・買増し、配当金受取り方法の指定等につきましては、口座を開設されているお取引証券会社にお申し出ください。ただし、証券会社に口座がないため特別口座が開設されている株主様につきましては、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

公告方法 / 電子公告(下記ホームページに掲載)

当社ホームページ / <https://www.seiren.com>

上場証券取引所 / 東京証券取引所プライム市場

証券コード / 3569

※ 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

配当金のお受取り方法について

配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様には、便利で確実なお受取り方法として口座振込のご利用をお勧めいたします。お手続きにつきましては、証券会社に口座を開設されている株主様は、お取引の証券会社へ、証券会社に口座がないため特別口座が開設されている株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行へお問い合わせください。

株主のみなさまへ

第152期/第2四半期

— 2023年4月1日～2023年9月30日 —

- 01 トップメッセージ
- 02 事業概況
- 03 事業概況
- 04 トピックス
- 05 トピックス
- 06 PICK UP トピック
- 07 PICK UP トピック
- 08 連結決算概要
- 09 株式情報

セーレン株式会社 www.seiren.com

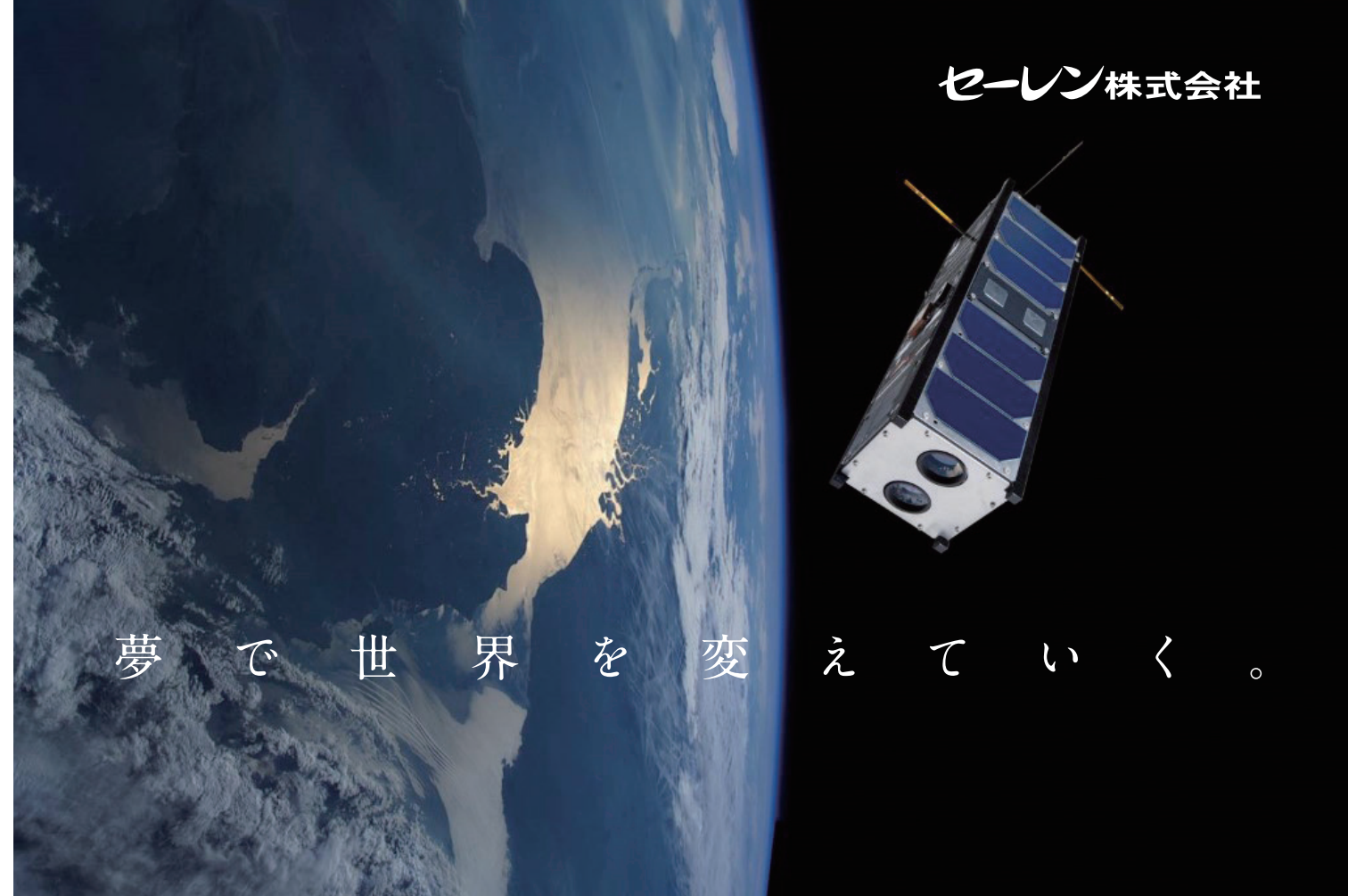
■ 福井本社 〒918-8560 福井県福井市毛矢1丁目10-1 / TEL:0776-35-2111 / FAX:0776-35-2114

■ 東京本社 〒107-0062 東京都港区南青山1丁目1-1 / TEL:03-5411-3411 / FAX:03-5411-1524
(新青山ビル東館)



FSC®認証紙と植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用

PHOTO: 超小型人工衛星



夢で世界を変えていく。

トップメッセージ

売上高・利益ともに過去最高更新 経常利益・純利益は3期連続過去最高

代表取締役会長 兼 最高経営責任者 **川田 達男**



当第2四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変わり、経済社会活動の正常化の動きが見られたものの、エネルギー及び原材料価格の高騰や急激な為替の変動等により、依然として先行き不透明な状況となりました。

このような厳しい経営環境においても、当社グループは、中期方針「未知の可能性への挑戦!」に基づき、変化し続けるお客様ニーズに応え、安定した収益確保と継続的な成長を果たすため、「イノベーションと顧客開発」及び「企業体質の再建」を柱とした事業戦略を推進しております。併せて、企業の潜在力

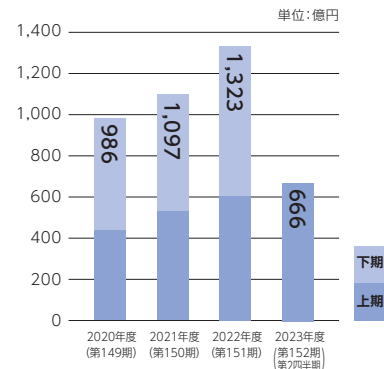
である人材力、開発力、環境対応力を高める経営を継続し、企業体質の強化に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高666億64百万円(前年同期比10.1%増)、営業利益60億27百万円(同16.7%増)、経常利益80億37百万円(同13.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益57億57百万円(同11.3%増)となり、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも第2四半期として過去最高となりました。なお、経常利益、純利益は3期連続過去最高となっております。

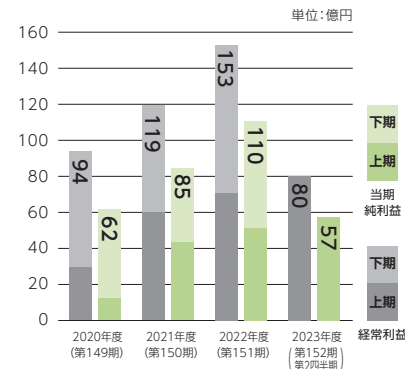
2023年11月

■ 第152期 連結財務・業績ハイライト

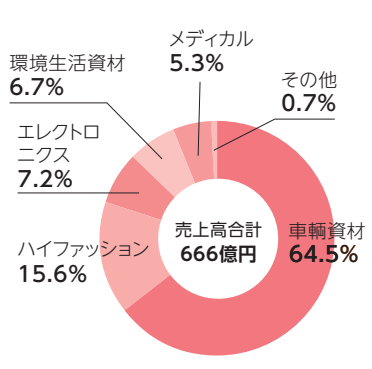
売上高の推移



経常利益および当期純利益の推移



セグメント別売上高の構成



セーレン通信

創立時の初心を忘れず、新たな飛躍を決意 ～さらなるグローバル体制の成長を目指して～

2023年は、セーレングループ各海外拠点の節目の年となり、各地で記念式典を行いました。今後も、新たな発展を目指して「夢」を共有し、セーレングループ一丸となって夢の実現に挑戦してまいります。

- 2023年4月15日 セーレン蘇州 創立20周年記念式典
- 2023年7月20日 セーレンノースアメリカ 創立20周年記念式典
- 2023年9月23日 セーレンインド 創立10周年記念式典
- 2024年3月実施予定 セーレンインドネシア 創立10周年記念式典

中国



▲ 記念石碑(写真中央)と植樹式

▲ 式典でのケーキ入刀 (左 于副会長、右 川田会長)

インド



▲ スピーチをする勝木常務

アメリカ



▲ スピーチをする山田社長

▲ 式典に参加したセーレンノースアメリカの従業員のみなさま



▲ 式典に参加したセーレンインドの従業員のみなさまとご家族

事業概況

売上高 / 666億64百万円 (経常利益 / 80億37百万円)

■ 車輜資材事業

国内事業の回復がけん引し、増収・増益

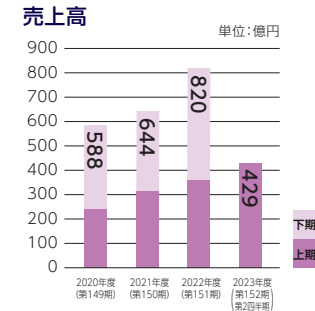
売上高 / 429億85百万円 (営業利益 / 42億86百万円)



国内事業は、世界的な半導体不足の緩和や前年の上海ロックダウンによるサプライチェーン混乱からの反動により回復しました。エネルギー及び原材料価格の高騰があったものの、為替の影響や業務の効率化をはじめとする経費削減活動により増収・増益となりました。

海外事業(2023年1~6月)では、半導体不足や原材料価格・輸送費の高騰が落ち着くとともに、カーシートの受注増加や新規商権立ち上げがあったものの、中国における日系メーカーの販売不振の影響を大きく受けました。また、SEIREN Hungary Kft.では経費が先行していることから、増収・減益となりました。

車輜資材事業全体では、国内事業の回復がけん引し増収・増益となりました。



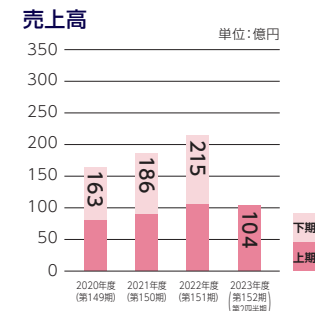
■ ハイファッション事業

サハセーレン事業構造改革効果により、減収・増益

売上高 / 104億24百万円 (営業利益 / 5億88百万円)



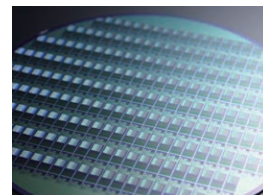
アパレル業界において環境に配慮したモノづくりへの関心が高まるなか、当社は差別化商品を小ロット・短納期・在庫レスで製造する独自の「Viscotecs®」を活用したビジネスモデルの展開に加え、リサイクル素材や生分解性素材の開発・製造を進めております。ファッションアパレルは、一部百貨店ブランドにおいてコロナ禍からの回復が見られたものの、スポーツアパレル、インナーアパレルはいずれも苦戦を強いられました。Saha Seiren Co., Ltd.においてアパレル事業の構造改善を行ったことにより、ハイファッション事業全体では減収・増益となりました。



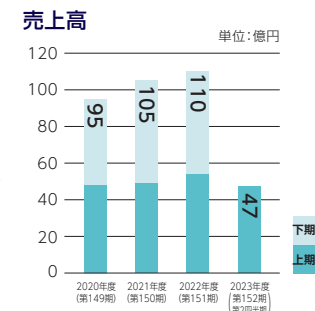
■ エレクトロニクス事業

エレクトロニクス業界の不調をうけ減収・減益

売上高 / 47億70百万円 (営業利益 / 7億67百万円)



ゲーム機関連の新規商材が順調に推移したものの、モバイル端末向け商材の売上が減少しました。KBセーレン(株)においては、データセンター向けハードディスクワイピングクロス「ザヴィーナ®」やケーブル用エンブラ繊維が伸び悩みました。その他、中国市況の悪化により繊維産業向け機械の受注が減少したこと等が影響し、エレクトロニクス事業全体では減収・減益となりました。



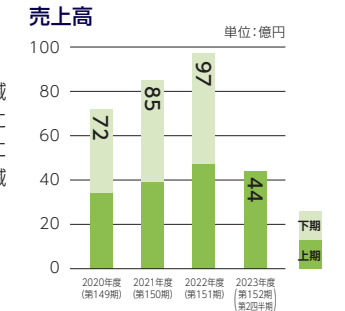
■ 環境・生活資材事業

住宅着工戸数減少の影響を受け、減収・減益

売上高 / 44億96百万円 (営業利益 / 4億71百万円)



ハウジング資材関連では環境対応商材が好調に推移したものの、住宅着工戸数減少の影響を受け苦戦しました。また、住生活資材関連ではコロナ禍において一時的に需要が高まった病院・介護向け製品の売上が伸び悩みました。一方、KBセーレン(株)においては、ティーバッグ需要の回復がみられました。環境・生活資材事業全体では減収・減益となりました。



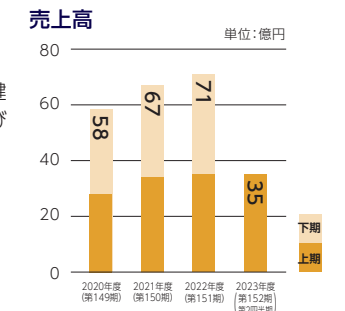
■ メディカル事業

原材料価格高騰の影響大きく、増収・減益

売上高 / 35億49百万円 (営業利益 / 4億3百万円)



化粧品及びKBセーレン(株)の貼付材の売上が減少したものの、サポーター等の健康・医療資材が堅調に推移し、増収となりました。また、利益面ではエネルギー及び原材料価格高騰の影響が大きく、減益となりました。

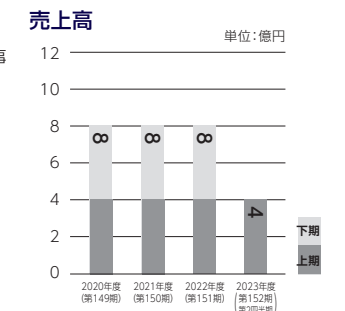


■ その他の事業

売上高 / 4億37百万円 (営業利益 / 2億17百万円)



(株)ナゴヤセーレンの不動産賃貸管理事業が堅調に推移したものの、セーレン商事(株)の保険代理業が好調であった前年同期の反動減となりました。



セーレングループ トピックス

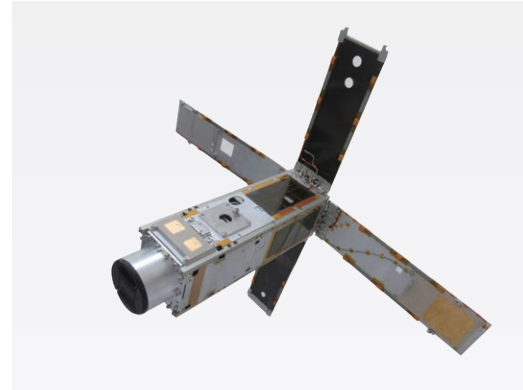
2023年 6月 超小型人工衛星「TIRSAT」のH3試験機2号機打上げ決定

2023年6月27日の文部科学省宇宙開発利用部会で、福井大学、東京大学の協力を得て、セーレンが開発した3Uサイズ(おおよそ10×10×30センチメートル)のキューブサット「TIRSAT」が、日本の新型基幹ロケット「H3ロケット」試験機2号機(H3TF2)に搭載され、打上げられることが発表されました。

現在、一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構のとりまとめのもと、H3TF2の打上げ成功に向けて、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構、経済産業省をはじめ、関係省庁、関係機関と連携し、準備を進めています。

TIRSAT打上げ後は、株式会社アークエッジ・スペース、福井大学と協力し、セーレンが運用を行う予定です。

当社は、今回の経験を生かし、今後も引き続き超小型衛星製造分野における技術開発と事業拡大に取り組んでまいります。



▲超小型人工衛星「TIRSAT」

2023年 9月 日本女子オープンゴルフ選手権に協賛

2023年9月28日から福井県あわら市の芦原ゴルフクラブで行われた、第56回日本女子オープンゴルフ選手権に、プレミアムスポンサーとして協賛いたしました。本大会は日本女子プロゴルフ協会の公式戦で、女子プロゴルフのメジャー公式大会です。大会期間中の入場者総数は25,765人と、成功裡に閉会しました。

セーレンは今後もスポーツ振興・地域貢献に取り組んでまいります。



▲大会の様子(写真提供:日本ゴルフ協会)

2023年 10月 冬は防湿、夏の壁内結露も防ぎ、住宅の長寿命化に貢献 ～高性能 調湿気密シート「ミストガード®」販売開始～

2023年10月1日から、高性能 調湿気密シート「ミストガード®」の販売を開始しました。

近年の夏場の気温の上昇で、室内外の温湿度差と従来の防湿気密シートによって起こる壁内の結露、「夏型結露」が問題になっています。「ミストガード®」は、可変透湿性能で、冬の防湿性と夏の透湿性を両立し、1年を通じて壁内の湿度を調整し結露を防ぎます。今後「ミストガード®」の採用を広げていくことで、夏場における住宅壁内の結露を防ぎ、住宅の長寿命化に貢献してまいります。



▲調湿気密シート「ミストガード®」

ミストガード紹介ページ

ミストガード



スマートフォンからはこちら

2023年 10月 楽なのにしっかり補整される、次世代補整インナーブランド「be myself™」立ち上げ

2023年10月4日から、新インナーブランド「be myself™」より「魅体感インナー」を応援購入サイトMakuakeにて先行発売しました。

『魅体感インナー』は、1枚の生地を着圧コントロールが可能な特許製法「VISCOMAGIC®(ビスコマジック)」で、縫い目のストレスを大幅に軽減したインナーです。補整下着のイメージを覆す、スタイリッシュで華やかなデザインが特徴の新商品です。

今後、セーレンのオンラインショップで一般発売予定です。



▲be myself™『魅体感インナー』

PICK UP トピック

コモエース®からモイストオイルをリニューアル発売

蘭由来の天然保湿成分“ピュアセリシン™”を配合した化粧品ブランド「コモエース®」から、モイストオイルを2023年11月1日より数量限定で販売しております。好評を得ているうおい処方そのままに、香りを一新。あたたかみのあるフローラル調の香りによりリラックス感を高め、乾燥によるストレスをやさしく和らげます。

乾燥が厳しくなるこれからの季節に、進化した「コモエース® モイストオイル」が乾燥ダメージから守り、健やかな肌へ整えます。



コモエース® モイストオイル/30mL/3,300円(税込)
成分:ピュアセリシン™と13種類の植物オイルを使用

【お求めは】

自社コールセンター TEL 0120-469-442 (受付時間9:00~18:00 休日/土・日・祝)
福井県内直営店

●公式オンラインショップ

コモエース モイストオイル <https://store.seiren.com/MOSR>

コモエース

スマートフォンからはこちら



2024年3月期 第2四半期連結決算概要

四半期連結貸借対照表(要旨)

単位:百万円

| 科目 | 前連結会計年度 | 当第2四半期連結会計期間 |
|--------------|------------|-----------------|
| | 2023年3月31日 | 2023年9月30日 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 101,068 | 111,210 |
| 固定資産 | 66,726 | 69,618 |
| 有形固定資産 | 54,167 | 55,911 |
| 無形固定資産 | 3,102 | 3,694 |
| 投資その他の資産 | 9,456 | 10,012 |
| ① 資産合計 | 167,795 | 180,828 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 30,307 | 33,396 |
| 固定負債 | 31,701 | 30,259 |
| ② 負債合計 | 62,009 | 63,656 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 95,167 | 99,928 |
| 資本金 | 17,520 | 17,520 |
| 資本剰余金 | 16,807 | 16,876 |
| 利益剰余金 | 75,669 | 80,195 |
| 自己株式 | △ 14,830 | △ 14,664 |
| その他の包括利益累計額 | 9,341 | 15,971 |
| 新株予約権 | 567 | 506 |
| 非支配株主持分 | 709 | 765 |
| ③ 純資産合計 | 105,785 | 117,172 |
| 負債純資産合計 | 167,795 | 180,828 |

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位:百万円

| 区分 | 前第2四半期連結累計期間 | 当第2四半期連結累計期間 |
|------------------|--------------------------|--------------------------|
| | 2022年4月1日~ 2022年9月30日 | 2023年4月1日~ 2023年9月30日 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,934 | 7,202 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 2,853 | △ 1,870 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 4,770 | △ 2,298 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 34,124 | 39,448 |

四半期連結損益計算書(要旨)

単位:百万円

| 科目 | 前第2四半期連結累計期間 | 当第2四半期連結累計期間 |
|------------------|--------------------------|--------------------------|
| | 2022年4月1日~ 2022年9月30日 | 2023年4月1日~ 2023年9月30日 |
| 売上高 | 60,564 | 66,664 |
| 売上原価 | 44,098 | 48,495 |
| 売上総利益 | 16,466 | 18,168 |
| 販売費及び一般管理費 | 11,302 | 12,141 |
| 営業利益 | 5,164 | 6,027 |
| 営業外収益 | 1,970 | 2,052 |
| 営業外費用 | 69 | 42 |
| 経常利益 | 7,065 | 8,037 |
| 特別利益 | 0 | 19 |
| 特別損失 | 10 | 6 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 7,055 | 8,050 |
| 法人税等 | 1,852 | 2,265 |
| 四半期純利益 | 5,202 | 5,785 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 27 | 27 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 5,174 | 5,757 |

ポイント

① 資産合計

総資産は、前連結会計年度末と比較して130億33百万円増加の1,808億28百万円となりました。流動資産は、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産の増加等により、前連結会計年度末と比較して101億41百万円の増加となりました。固定資産は、設備投資や、海外子会社の財務諸表の換算レートが円安になったことにより、有形固定資産が増加し、前連結会計年度末と比較して28億91百万円増加しました。

② 負債合計

負債の部は、支払手形及び買掛金の増加等により、16億46百万円増加し、636億56百万円となりました。

③ 純資産合計

純資産は、為替換算調整勘定の変動や、利益剰余金の増加などにより、全体で113億86百万円増加し、1,171億72百万円となりました。

